「福祉のまちづくりフォーラム２０２６」開催要項

１．趣　　旨

誰もが住み慣れたまちで自分らしく暮らし、まちの一員としてともに歩むまちづくりは、一人ひとりの安心や新たなつながりを育みます。

本フォーラムでは、障がい者・障がい児、当事者家族、まちの人々のかかわりから、誰もが自然に支え合い、ともに暮らし続けられるまちづくりについて考えます。

２．テ ー マ　「支える・支えられる、かべはない。ともに暮らし、ともに歩むまちへ」

～一人ひとりの歩みと、家族・まちのつながりから考える、誰もが自分らしく暮らせるまちづくり～

３．主　　催　社会福祉法人　岐阜県社会福祉協議会

４．日　　時　令和８年１０月１４日（水）　１３：３０ ～１６：３０

（Zoom 入室　１３：１０～１３：２５）

５．開催方法　Zoom を使用したオンライン形式

６．参加対象　社協役職員、福祉に関する団体、福祉活動に関心のある方

７．参 加 費　無　料（定員なし）

※回線数に限りがあるため、可能な範囲でパブリックビューイング等にご協力ください。

８．参加申込　下記 URL または QR コードより、１０月８日（木）17：00 までにお申し込みください。

⇒【申込フォーム】

https://forms.gle/U8ZTHsDEEdjePXLE8

※フォーラム開催の１週間前を目途に、Zoom URL および資料を申込フォームに入力いただいたメールアドレスへ送信いたします。

９．その他

・本フォーラムの参加申込受付を通じて取得した個人情報については、本フォーラムの運営に関する業務以外の目的には使用しません。

・申込フォームにて申込み後、回答のコピーが登録したメールアドレスに返信されます。
返信がない場合は、正しくメールアドレスが入力されていない可能性がありますので、照会先までご連絡ください。

・参加決定通知は発行いたしませんので、当日は 13:10～13:25 までに Zoom へご入室ください。

１０．日　程

13:30～13:35　開　会

13:35～14:05　基調講演「障がい者(障がい児)を取り巻く『今』を知る」

中部学院大学　人間福祉学科　准教授　兼松 博之　氏

14:05～14:35　実践レポート①

「障がい児・家族と地域がつながる、安心なまち」

株式会社 プラウドネットワーク　代表　今村　しのぶ　氏

株式会社プラウドネットワークの今村氏自身が障がいのある子どもを育てる親としての経験を通じ、「障がいのある子どもや家族が、地域の中で少しでも不安が無くなり、孤独が無く暮らしていくためにはどうしたらよいのか」と考えたことから始まりました。その思いを形にするために同社を設立し、障がいのある子どもやその家族が、人とのつながりの中で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。障がいのある人やその家族を「支援される存在」としてではなく、ともにまちをつくる一員として、自然に支え合い、関わり合うことの出来るまちを取り組まれています。

14:35～15:05　実践レポート②

「つながりが根づく、羽島のまち」

社会福祉法人 岐阜羽島ボランティア協会　理事長　川合 宗次　氏

岐阜羽島ボランティア協会では、障がいのある人をはじめ、地域で生きづらさを抱える人たちが、自分らしく安心して暮らせるまちを目指し、地域に根ざしたまちづくりに取り組んでいます。居場所づくりや交流活動、社会参加の機会を通じて、一人ひとりが地域の中でつながり、役割を持ちながら、ともに暮らしていくことを大切にしています。こうした活動をまちの中で積み重ねていく中で、気がつけば、活動や人とのつながりがまちの日常に溶け込み、誰もが自然に関わり合える「当たり前」の存在として根づいています。

15:05～15:25　ディスカッション

15:25～15:35　休　憩

15:35～16:25　講　演

「支える・支えられる、かべはない。ともに暮らし、ともに歩むまちへ」

中部学院大学　人間福祉学科　准教授　兼松　博之　氏

16:25～16:30　閉　会

照会先

岐阜県社会福祉協議会　総務企画部

地域福祉・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ担当（担当：右納（うのう））

TEL：058－201－1546

E-mail：uno-shinnosuke@winc.or.jp